［国語］

2年生 季節のしおり②

（教科書84・85ページ）

二年　組

名前

【目標】季節の言葉を、行書で書いて味わおう。

① これまでに学習したことを意識して、行書で季節の言葉（「枕草子（まくらのそうし）」）を書こう。

春

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫（むらさき）だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏

夏は夜。月のころはさらなり、闇（やみ）もなほ、蛍（ほたる）の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。



2年生 ［国語］ 季節のしおり②

（教科書84・85ページ）

二年　組

名前

【目標】季節の言葉を、行書で書いて味わおう。

秋

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、烏の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。

冬

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。

清少納言「枕草子」より

② 学習を振り返ろう。※〇にチェックを入れよう。

〇 これまでに学習したことを生かして、季節の言葉（「枕草子」）を書いた。